

生活道の充実、中九州横断道路実現に向け研修

阿蘇市の未知（みち）を考える女性の会



「阿蘇市の未知（みち）を考える女性の会」（小笠原邦子会長）は、街づくりや生活向上につながる道づくりに女性も積極的に加わり、道路整備を確かなものにしようと、竹田市の「中九州横断道路早期完成を願う女性の会」等と交流をしながら活動されています。会ではこの度、県内主要3ヶ所の工事現場視察研修を実施し約42人が参加しました。

参加者は、大事業である立野の4車線化工事、白川河川工事、熊本駅前開発整備の現場に立ち、それぞれの担当者から説明を受け、貴重な体験をされました。

地域婦人会が災害時ボランティアを学ぶ

阿蘇市地域婦人会防災研修会



地域赤十字奉仕団の一員である阿蘇市地域婦人会（神保京子会長）による、防災研修会が3月1日、坂梨公民館で行われました。

これは、東日本大震災を教訓に、赤十字ボランティアの認識を深め、災害に関する知識や技術を身に付けようと、社会福祉協議会と日赤の協力で開かれたもので、研修では、講話や、被災地派遣職員の活動報告、応急手当等が行われました。

また、特殊ビニール袋で炊飯し3ヶ月腐らないというハイゼックス炊飯にも挑戦し、災害時に備えました。

復興の祈りを込めて2年ぶりの「火文字」

阿蘇の火まつり「大火文字焼き」



阿蘇郡市7市町村が様々な催しを行う、阿蘇の火まつりのオープニングイベントとして、阿蘇の大火文字焼きが3月10日、はな阿蘇美をステージイベント会場に行われました。昨年は東日本大震災の影響により中止となったことから、2年ぶりの開催となりました。

ステージイベントでは、阿蘇の物産市や神楽、TAOによる和太鼓公演など様々な催しが行われ、会場は賑わいを見せました。

夜には往生岳と本塚に、火文字が次々に点火され、2年ぶりに『災』の文字が浮かび上がりました。

内牧を桜の名所に

黒川河畔の桜を守る会、木の手入れ作業を奉仕



「黒川河畔の桜を守る会」（富田英次会長）の皆さんが、黒川堤防沿いの桜の手入れ作業に、取り組まれました。

同会は、内牧温泉街の黒川堤防沿いの両岸を彩る桜並木に、近年テングス病等が多く見られるため、大事な内牧の宝を守ろうと、富田さんら有志10人が立ち上がったもので、早速3月11日、会員と協力者18人による剪定作業が行われました。内牧1区は地区で毎年取り組まれており、この日は2区から5区までの半分の剪定があり、2トン車10台分の枝が切除されました。残りは秋に行われる予定です。